

公益社団法人日本介護福祉士会 第25回全国大会・第16回日本介護学会 in くまもと

がんばるけん！

くまもとけん！



熊本城

©2010 熊本県くまモン#K28939

テーマ 「Remind 創造的復興を目指す熊本から発信!!」
～生活支援の専門職の価値～

主催／共催 公益社団法人日本介護福祉士会 / 日本介護学会 /
一般社団法人熊本県介護福祉士会

期 日 平成30年11月2日(金)～3日(土)

会 場 市民会館シアーズホーム夢ホール(熊本市民会館)ほか

参加費 会員／3,500円 一般／10,000円 学生・生徒／1,000円

*会員として参加した方には、生涯研修制度ポイント(10ポイント)が加算されます。

*「学生・生徒」は介護福祉を学んでいる、または興味のある学生・生徒とします。

参加対象 日本介護福祉士会会員、日本介護学会会員、社会福祉協議会・行政機関等の職員、介護福祉士
養成校の学生及び教職員、介護・福祉・保健・医療関係者等及び一般の方

全体プログラム（予定）

1日目 平成30年11月2日（金）

（全体会）市民会館シアーズホーム夢ホール（熊本市民会館） 大ホール	
12：00～	受付
13：00～ 13：20	開会式典
13：20～ 14：20	行政説明 『福祉人材確保対策の現状について（仮）』 厚生労働省 社会・援護局 福祉基盤課（予定）
14：35～ 15：35	基調講演 『地域共生社会に向かった実践的課題（仮）』 講師 小笠原 嘉祐 氏（社会福祉法人リデルライトホーム理事長、 全国社会福祉法人経営者協議会副会長）
15：50～ 17：20	記念講演 『言葉で繋がる心の絆』 講師 木村 和也 氏（熊本放送 報道制作局 アナウンス部 部次長）
18：30～	懇親会（KKR ホテル熊本「五峯・城彩の間」にて）

2日目 平成30年11月3日(土)

(分科会) 市民会館シアーズホーム夢ホール (熊本市民会館)、桜の馬場城彩苑	
9:00~	受付
9:30~ 11:30	第1分科会 「認知症」 座長：中村 博喜 氏 (熊本県認知症疾患医療センターセンター長) (調整中)
	第2分科会 「人材確保・育成(教育)」 座長：横山 孝子 氏 (熊本学園大学社会福祉学部教授、公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会副会長)
	第3分科会 「災害支援」 「共生社会(認知症、障害、地域連携など)」 座長：川原 秀夫 氏 (特定非営利活動法人コレクティブ代表・理事長、全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会理事長)
(全体会) 市民会館シアーズホーム夢ホール (熊本市民会館) 大ホール	
11:30~ 12:45	昼食・ポスターセッション発表時間
12:45~ 13:30	分科会報告 各分科会の座長による報告
13:45~ 14:45	記念講演 『魅力ある専門職とは何か』 講師 大島 伸一 氏 (一般社団法人認定介護福祉士認証・認定機構理事長)
14:45~ 15:00	ポスターセッションの表彰
15:00~ 15:20	閉会式典 次期開催県(石川県介護福祉士会)の挨拶 閉 会

全国大会・学会のお問い合わせ

公益社団法人日本介護福祉士会事務局 (日本介護学会も同じ事務局となります。)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-22-13 西勘虎の門ビル3階

TEL 03-3507-0784 FAX 03-3507-8810

Mail webmaster@jaccw.or.jp URL http://www.jaccw.or.jp

一般社団法人熊本県介護福祉士会事務局

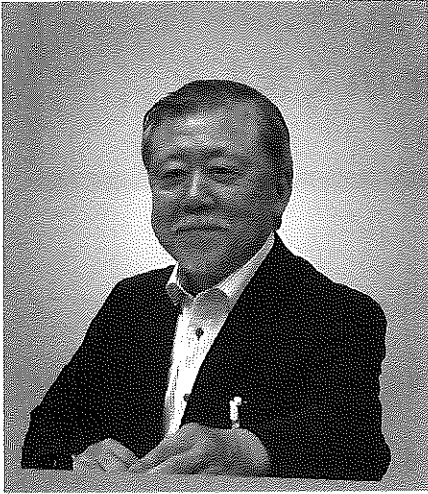
〒862-0950 熊本県熊本市中央区水前寺 6-41-5 千代田レジデンス 504

TEL 096-384-7125 FAX 096-297-8115

Mail info@kumamoto-kaigo.jp URL http://www.kumamoto-kaigo.jp/

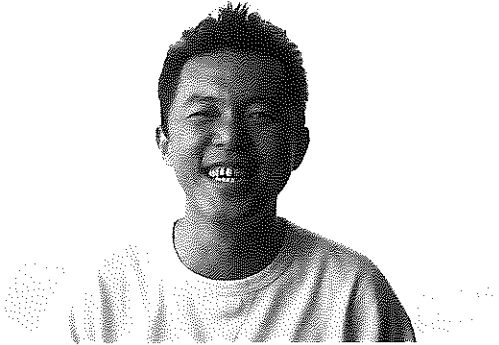
【 講師プロフィール 】

【基調講演 小笠原 嘉祐 氏】



社会福祉法人 リデルライトホーム 理事長
特定医療法人社団ピネル会 ピネル記念病院 理事長
NPO法人おーさあ 健軍くらしささえ愛工房 理事長
全国社会福祉法人経営者協議会副会長（常任協議員）
熊本県社会福祉法人経営者協議会 会長
熊本県介護老人福祉施設理事長 会長
熊本県社会福祉協議会 副会長
熊本県精神保健福祉協会 理事
医師・臨床心理士・認知症サポート医
日本精神神経学会精神科専門医

【記念講演 木村 和也 氏】

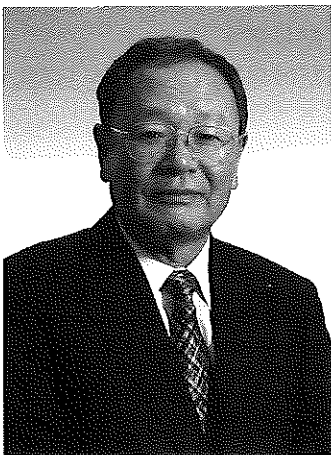


熊本放送アナウンサー。2001年3月14日、番組取材中にアクシデントに見舞われ第三腰椎圧迫骨折。脊髄損傷により両下肢機能に障害を抱える。約8ヶ月間の入院生活を経て、01年12月仕事に復帰。02年4月からRKKテレビタ方生ワイド番組『タ方いちばん』の司会を13年間担当。同番組は「タウン情報クマモト」が行っていた人気投票調査「輝け!タンクマ大賞」において人気ローカルテレビ番組部門や人気ローカルアナウンサー部門で1位を獲得している。

一方、04年11月に自身の体験を綴った『再起可能』、14年3月に『再起可能Ⅱ「一言入魂(いちごんにゆうこん)」』を出版。言葉で繋がる人と人との絆や命の大切さを訴え、番組の傍ら講演活動を熊本県内中心に行っている。

2016年の熊本地震では南阿蘇や益城のレポートやラテニュースなど不眠不休の報道態勢。家族はライフラインを失い車中泊の日々を送る。日常の有難さを更に実感する。

【記念講演 大島 伸一 氏】



一般社団法人認定介護福祉士認証・認定機構理事長、国立長寿医療研究センター一名誉総長。1945年生まれ。1970年名古屋大学医学部卒業、社会保険中京病院泌尿器科、副院長を経て、1997年名古屋大学医学部泌尿器科学講座教授、2002年名古屋大学医学部附属病院長、2004年国立長寿医療センター総長、2010年独立行政法人国立長寿医療研究センター理事長・総長、2014年より名誉総長。名古屋大学名誉教授。

介護福祉士国家試験委員会委員長（2008-11年）、介護職員等によるたんの吸引等の実施のための制度の在り方に関する検討会座長（2010-11年）、社会保障制度改革国民会議委員（2012-13年）、全国在宅医療会議座長、日本福祉大学常任理事なども務める。

【著書】「超高齢社会の医療のかたち、国のかたち」（グリーン・プレス・2014）、「老後を生き抜く方法」（宝島社・2016）、「長寿の国を診る」（風媒社・2017）、編著「『治し支える医療』へ向けて、医学と社会の大転換を」（ライフ・サイエンス・2018）など。